

実習1 ガイダンス

1 実習期間

令和7年7月16日（水）（演習1の終了後）～8月21日（木）（演習2の開始前）まで

2 課題の概要（3種類）

- ・課題① 実践例を1例選定し、ケアマネジメントの流れを実習する。
- ・課題② 自らの業務地域の状況を知るための地域の調査を行う。
- ・課題③ 自らの業務地域の協議会に参加する。

3 実習1における各課題の内容

課題① 実践例によるケアマネジメントの実習について

(1) 実施内容

利用者本人等と実際に関わり（改めて）アセスメントを行う。

※ もともと関わっている利用者の場合、その関わりを振り返ることにつながります。

(2) 提出物

以下の4種類の様式を作成します。

→ いずれも演習中に活用している様式です。

- i) 実践例の概要
- ii) 一次アセスメント票
- iii) 人となりの理解とストレングスに着目するためのストレッチ
- iv) ニーズ整理票

(3) 実践例選定に関する注意事項

- ① 実際に自分自身が現在進行形で関わっている利用者であること。
 - ・どうしても自分の実践例が選定できない受講者は、地域の基幹相談支援センター等において実習させてもらうよう依頼の相談をすることも視野に入れること。
- ② ケアマネジメント技法を用いた支援に適する利用者であること。
 - ・地域生活（在宅生活）、入所・入院からの地域移行に関する支援の対象者であること（入所・入院に向けた支援、入所・入院の継続支援に関する実践例は不可となります）。
 - ・実習期間内にゴール設定ができるか、あるいは既にできている利用者であること
 - ・地域の複数の社会資源を活用している（したい）利用者であること
 - ・一つ以上の障害福祉サービスを利用している（したい）利用者であること
- ③ 自らが何らかの課題意識でアセスメントを（再）検討してみたい、アセスメントについて他者の意見を聞いてみたい利用者であること。

- ④ 本人の同意が得られること。
- ⑤ 以下に挙げる利用者を選定することは避けること（実践例再選定の上再提出となります）。
 - ・ 緊急性の高い事例、危機介入の必要な利用者、虐待は疑われる事例も含めて不可とします。
 - ・ 研修の期間中に関係性の構築が困難な利用者、研修の期間中に会うことが困難な利用者。
 - ・ 現在のところ本人のゴールがない、本研修の期間中に定まりがたいと想定される利用者。

※実際の支援の中では上記のような利用者も当然おられるはずですが、今回は初任者研修の獲得目標・研修意図から避けていただくものです。

(4) 作成にあたっての注意事項

本人等が特定できる可能性のある情報をすべて伏せてください。

- ・ 本人、家族、関係機関はすべて仮名（例：「Aさん」や「B病院」）にすること。
- ・ 住所は「C市」や「D町（〇〇郡は記載しないこと）」とすること。
- ・ 生年月日は生年のみ（例：昭和30年）とすること。電話番号は一切記入しないこと。

※例年、現実的な仮名や仮の電話番号を記載している例があります。誤って本名等を記載されたのか確認の連絡をさせていただくこととなりますので、提出の際は十分に注意事項をご確認ください。

(5) その他

次回研修（8月22日（金））において、アセスメントについてグループ内で検討を行います。事前に5分間で以下の要領で概要を発表できるよう、準備しておいてください。

- ① 本人像 ← 100字要約
- ② 事例の概要 ← 検討会議（事例検討）のケースレポートの冒頭部分
- ③ 本人との関わりの経緯
- ④ 本人の（と）定めたゴール ← ニーズ整理
- ⑤ 本人のゴール達成に向けての課題・スモールステップ ← ニーズ整理
- ⑥ 活かそうと考えた本人のストレングス（支援の根拠）
- ⑦ 実践例の選定理由（自らの課題意識）

※留意点

- ・ 主に「実践例の概要（事例の概要欄）」と「ニーズ整理票」を用いて報告する。
- ・ 単なるシートの読み上げとならないよう、端的に報告する。
- ・ 事業所内の会議で簡潔に報告する設定であると想定してください。

課題② 自らの業務地域の状況を知るための地域の調査について

(1) 実施内容

- ①自分が普段業務を行っている地域には、どのような社会資源があるのかを調査します。
- ②指定の社会資源調査票を作成します。

(2) 提出物

- ix) 社会資源調査票

(3) 注意事項

資源や地域の課題について、よくわからない場合は、自治体等に質問してみることもよいでしょう。

課題③ 自らの業務地域の協議会への参加について

(1) 実施内容

従事予定の地域の自立支援協議会に参加する。

(2) 実施場所について

別紙のとおり

4 課題の提出について

2段階で課題を提出いただきます。様式は富山県のホームページに掲載しています。

(1) 8月15日(金)(必着)までに、郵送で課題①の様式4種類を1セットとして
7部提出してください。

- i) 実践例の概要
 - ii) 一次アセスメント票
 - iii) 人となりの理解とストレングスに着目するためのストレッチ
 - iv) ニーズ整理票
- ※左上止め

(2) 次回8月22日(金)の研修受付時に課題を一式ご提出ください(県提出用)。

- 1 課題の確認票
 - 2 課題①及び課題②で作成した様式
 - i) 実践例の概要
 - ii) 一次アセスメント票
 - iii) 人となりの理解とストレングスに着目するためのストレッチ
 - iv) ニーズ整理票
 - ix) 社会資源調査票
- ※左上止め

